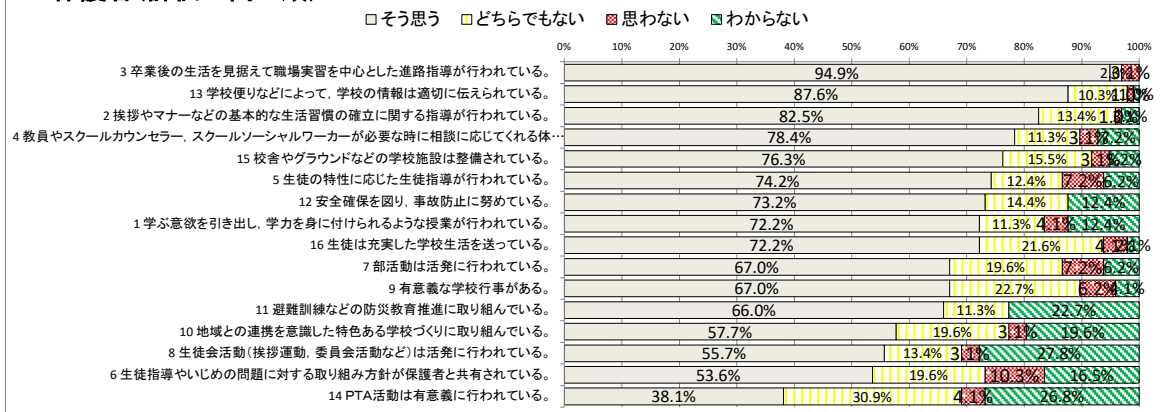


学校に関するアンケート

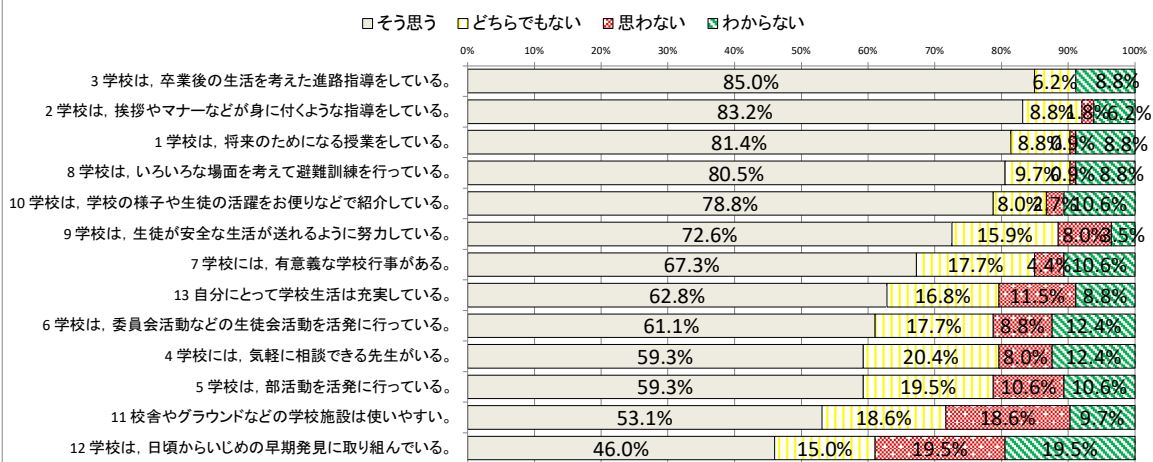
保護者（評価の高い順）



アンケートの結果と分析

- ① 昨年度は16項目中13項目について70%の方が「そう思う」と評価していたが、今年度は9項目となっている。この9項目以外の7項目は、新型コロナウイルス感染症のため評価が昨年度より低くなったと思われる。また、「わからない」と回答する割合が高い項目が5項目あった。コロナ禍における、保護者が本校教育活動を理解できる取り組みが必要と思われる。
- ② 生徒会活動や部活動、防災教育などについては、コロナ禍で様々な取り組みを実施し、ホームページ等で広報している。さらに、ホームページを見てもらう工夫が必要と思われる。

学校に関するアンケート（生徒用）全年（男女計）



アンケート結果と分析

- ① 全体的に「そう思う」の評価が昨年度より高くなっており、80%を超える評価が昨年度より3項目増えた。昨年度同様、「将来に向けての学習」や「安全教育」「避難訓練」等は本校の目指すべき姿であり、生徒たちはそれを前向きに捉えている。
- ② 「13学校生活は充実している」について、「そう思わない」「どちらでもない」「分からない」と感じている生徒が合わせて37.1%おり、このことを真摯に受け止め、学校は学習活動と生徒指導に取り組んでいく必要がある。
- ③ 「4気軽に相談できる先生がいる」については、「そう思う」が昨年度比で増加しているが、約4割が「どちらでもない」「思わない」「わからない」と答えていることを踏まえ、今後も、教職員が気軽に相談に乗れる信頼と資質を身に付ける努力をしていきたい。
- ④ いじめの早期発見について、昨年と比べ「そう思う」が微増しているが、「思わない」「わからない」も微増している。個別対応の部分が多いところではあるが、引き続きいじめの早期発見について、日頃から継続した指導を心掛けたい。